

研究テーマ：インターネットを用いた理学療法士国家試験学習システムの開発

研究代表者（職氏名）：准教授 金井秀作

所属：保健福祉学部理学療法学科

共同研究者（職氏名）：助手 島谷康司，教授 大塚彰

『はじめに』

インターネットの普及によって、ホームページを学生が閲覧しながら学習を進める方式が高等教育の分野でも普及するようになった。しかし、その普及は工学分野がほとんどであった。徐々にではあるがここ数年、医療分野においても、CAI (Computer assisted Instruction) を用いた教授方法の報告が見られるようになってきたが国内においてはその数は少ない。まして、理学療法教育では、教育現場の使用頻度が高い (Power Point によるプレゼンテーションも CAI の一つ) にも関わらず、その効果検証という視点での CAI 実践報告・論文はほとんど見られない。また、この傾向は海外でも同様である。

そこで理学療法専攻学生を対象とした CAI として web 学習型国家試験問題集を作成した。

『作成したシステム内容』

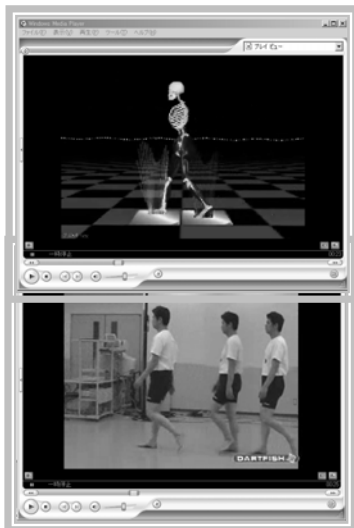
CAI の構成は HTML をベースとした WEB 構成であり、ホームページ上に設置したテキストや GIF アニメーションによる解説ページ、リンク機能を用いたクイズページ、動画を用いた歩行観察ページ、そして学習レベルを見るため CGI プログラムにて作成した選択問題集ページを作成した。

なお、本研究の対象である学生以外の使用を防ぐため、ID 及びパスワードによるアクセス制限を用いた。この ID 管理により学生のアクセス回数 (ログ) を把握することが可能となっている。

この認証を受けた後に使用方法や学習方法の基礎を学習するページかテストを受けるページかを選択することになる。

学習のページでは静止画や動画を観察することになる。また、いわゆる選択試験問題とは異なりリンク機構を生かした簡単なクイズのページも体験できるようなページも追加している。

理学療法士にとって最も重要な基



礎学問である「運動学」において歩行の分析は国家試験にも頻発することに加え、臨牀に於ても必要となる知識である。“動き”である歩行を学習するため表示する動画にも工夫を加えた。

『実施状況』

先行研究で開発したインターネット上の選択問題集は四者択一の問題であり、図表や動画の設置はできない状況であった。問題ごとの画像の設置と問題数の簡易な変更および正解が2つある問題 (択二問題) などにバージョンをあげる必要があったためその改良を行った。また、点数管理については匿名でのランキング表示などの機能を加えることで学生の学習意欲を高める工夫も行っている。

『おわりに』

学生に対する国家試験対策自己学習の環境の場の設置により、国家試験の合格率向上に寄与すると考える。また、教員による問題作成後に簡単に Web 上にその問題をバージョンアップさせることができることで各教員の国家試験対策に対する興味付けになる。

